教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組み

■幼稚園教員養成課程（幼稚園教諭一種免許状）〔こども教育学科　幼児教育コース〕

幼児教育の専門知見を身につけ、それぞれの子どもの特性を深く理解し、子どもを取り巻く様々な状況について多面的に理解・支援することができる幼稚園教員、現場教育実践を重視し、生涯にわたって子どもの現場から生涯にわたって学び続ける姿勢を持つ幼稚園教員を養成します。

幼児教育コースでは、認定こども園にも対応できるために、保育士資格を併せ取得する保育者の養成を基本とします。

4 年間を通した現場往還教育により、実力ある幼稚園教員（保育者）を養成します。1 年次よりスタートする少人数のゼミナール、2 年次での保育インターンシップを経て、2 年次終了時点での保育所実習、3 年次の児童福祉施設実習ならびに幼稚園教育実習、4 年次での保育所または児童福祉施設での実習に参加し、幼稚園教員（保育者）としての実力を身につけます。

教育・保育現場での経験が豊かな教員の指導のもと、現場で求められる心のサポートを含め、児童や教育・保育現場への理解を深めていきます。

■小学校教員養成課程（小学校教諭一種免許状）〔こども教育学科　小学校教育コース〕

小学校教育の専門知見を身につけ、それぞれの子どもの特性を深く理解し、子どもを取り巻く様々な状況について多面的に理解・支援することができる小学校教員、現場教育実践を重視し、生涯にわたって子どもの現場から生涯にわたって学び続ける姿勢を持つ小学校教員を養成します。

4 年間を通した現場往還教育により、実力ある小学校教員を養成します。1 年次よりスタートする少人数のゼミナールを通じて、1 年前期では学校ボランティア、1 年後期以降は学校インターンシップなど、学外での実習内容を段階的にレベルアップしていきます。

特に学校インターンシップでは、教育現場での体験を共有し合い、指導や支援の技術を磨きます。現場での体験をゼミ形式の授業で報告し合い、やりがいや悩みを共有することで、教職への意欲をさらに高めていきます。3 年次で行う教育実習は原則として、2 年次にインターンシップを行った宇治市内、京都市内の小学校となり、4 年間を通して現場実習に取り組むことができます。

教育現場での経験が豊かな教員の指導のもと、現場で求められる心のサポートを含め、児童や学校への理解を深めていきます。

■中･高教員養成課程（中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語））〔こども教育学科　小中英語教育コース〕

小学校教諭一種状免許に加え、中学校教諭一種免許状（英語）及び高等学校教諭一種免許状（英語）の取得を目指します。複数免許を取得することにより、小中一貫教育や小学校の専科指導に対応できる教員を養成します。こども教育学科での学びにより教科の専門性を高め、グローバル教育や多文化共生教育についての教育実践力を高めます。

学校インターンシップでは、小学校と中学校の学校現場を両方体験することにより、児童生徒の発達段階の違いや校種による指導の違いなどを体験的に学びます。教育現場での体験を共有し合い、指導や支援の技術を磨きます。現場での体験をゼミ形式の授業で報告し合い、やりがいや悩みを共有することで、教職への意欲をさらに高めていきます。3 年次で行う小学校での教育実習を生かして、4 年次に中学校または高等学校への教育実習を行います。

教育現場での経験が豊かな教員の指導のもと、現場で求められる指導力や生徒理解を深めていきます。

■中･高教員養成課程（中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状（公民））〔総合社会学科／臨床心理学科〕

開放制教職課程の特色を活かし、総合社会学科と臨床心理学科での学びにより教科の専門性を高めます。さらにその専門性を基盤として、学校現場へ訪問することにより、教育実践力を高めます。

課程では、教職関連科目の担当教員が中心となり、ゼミナール形式の教職グループ（免許取得希望届提出者）を形成し、各年次のオリエンテーションで履修登録等のサポートや授業外活動を実施しています。

＜主な授業外活動＞ 1年次生…母校の恩師へのインタビュー課題を基にしたディスカッション
2年次生…近隣学校への授業見学や学校ボランティア等の活動
3年次生…介護等体験の事前事後面談、進路指導
4年次生…教員採用試験事前対策指導、大学院進学指導等

それぞれの学年で、少人数のよさを活かして個別に学生対応を行い、教員育成指標に見合った人材の育成をはかっています。